

令和4年度「総合的な探究の時間」全体計画 及び  
令和4年度入学生における「総合的な探究の時間」全体計画（案）

※学校名	※総合的な探究の時間の名称
徳島県立小松島高等学校	プロジェクトK

① 必須の要件として示すもの

※各学校において定める目標

探究の見方・考え方を働かせ、生徒の興味・関心に基づく課題について 横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を発見し解決していくために以下の資質・能力を育成することを目指す。

(1) 知識及び技能

自分のことを知り、よりよい自分を形成する、自分とむきあう力を身につける。

①探究課題に関する知識を身につける。②探究で得た技能を日常生活の様々な場面において活用させる。③探究の意義を理解させる。

(2) 思考力、判断力、表現力等

社会の人との関わりの中で、人を認め、協力し合える、人とむきあう力を身につける。

①適切に課題を設定させる。 ②目的に応じて手段を選択し、情報を収集する力を育てる。

③視点を定めて多様な情報を分析する力を育てる。④相手や目的、意図に応じて論理的に表現させる。

(3) 学びに向かう人間性等

世界を知り、課題を見つけ、解決へ導こうとする、世界とむきあう力を身につけるようにする。

①探究を通して、自己を見つめ、自分の個性や特徴に向き合う態度を育てる。②自他の良さを認め特徴を生かしながら、協働しようとする意欲を育てる。

③探究を通して社会の形成者としての自覚をもって、社会参画・貢献しようとする意欲を育てる。

※各学校において定める内容

目標を実現するにふさわしい 探究課題		探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力		
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう人間性等
科	1年 生徒の興味・関心に基づく課題	・自分や自分が住む地域や世界について情報を収集することができる。 ・自分の自分の長所を知っている。	・相手に関心をもち、相手の立場にたつことができる。 ・共感的態度をもって話をすることができる。	・自分は集団の一員だと感じることができる。
	2年 生徒の興味・関心に基づく課題	・世界や地域の課題を発見している。 ・解決にむけた取り組みに考えをめぐらせることができる。	・相手に理解してもらえるように、言葉や非言語能力を使って自分の考えを述べたり、コミュニケーションをとったりできる。	・見通しを立てることができる。 ・自分をコントロールし、学びに向かい、試行錯誤を重ねることができる。
	3年 生徒の興味・関心に基づく課題	・情報を適切に活用することができる。	・他者を信頼し、言葉や非言語能力を使って自分の考えを述べたり、コミュニケーションをとったりできる。	・試行錯誤や振り返りを通して粘り強く問題の解決にむかうことができる。 ・自分を生かして社会や他者の役に立ちたいと考えて行動している。
	4年			

② 基本的な内容や要件を包括的に示すもの

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人設定</li> <li>・個人/グループでの研究</li> <li>・クラス内発表</li> <li>・選抜による全体発表</li> <li>・校外への生徒授業等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゼミ方式による、個に応じた指導及び学習活動の充実。</li> <li>・様々な分野の専門家を招き、幅広い教養の習得に結びつける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未来のためのまなびプロジェクト</li> <li>・学年団</li> <li>・大学教授等</li> <li>・コミュニティスクール構成委員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポートフォリオを活用した評価の充実。</li> <li>・指導計画の評価の実施。</li> <li>・面談</li> <li>・未来手帳</li> </ul>